

楽しむ、学ぶ。キャンパスマガジン

日本大学法学部ジャーナル

Journal

vol. 13

2014 September ▶ December

特集
日本大学法学部
創設125周年

特集



学祖
山田顕義

特集
日本大学法学部創設125周年

2014 Vol.13 September ▶ December

日本大学法学部 Event Schedule

9月~12月

就職指導課

9
September

- 9月18日(木) 第2回総合就職ガイダンス
自己分析・エントリーシート作成ガイダンス
- 9月25日(木) 業界研究ガイダンス(入門編)
会社四季報を使ったいい会社の選び方ガイダンス
- 9月26日(金) SPI3対策講座10月コース説明会
- 9月27日(土) (2年生のための)就職ガイダンス
- 9月29日(月) 業界・企業・職種研究セミナー①(総論)
業界・企業・職種研究セミナー②(金融・不動産)

10
October

- 10月上旬 ~下旬 各種業界研究セミナー
- 10月6日(月) 業界・企業・職種研究セミナー③(IT・コンサル・メーカー)
業界・企業・職種研究セミナー④(商社・流通・小売)
- 10月8日(水) 未内定者のためのフォローアップセミナー(全学部合同)
- 10月上旬 各種公務員業務説明会
- 10月16日(木) 元人事担当者による特別講演
就活SNSガイダンス
- 10月18日(土) キャリア教育講座
- 10月20日(月) 業界・企業・職種研究セミナー⑤(マスコミ・ホスピタリティ)
業界・企業・職種研究セミナー⑥(まとめ)
- 10月23日(木) 業界研究ガイダンス(銀行・信用金庫)
- 10月上旬 ~11月下旬 内定者による活動報告&相談会

11
November

- 11月上旬 ~下旬 各種業界研究セミナー
- 11月上旬 SPI3WEBテスト説明会
- 11月6日(木) エントリーシート攻略テストフォローガイダンス
R-CAP(自己診断テスト)フォローガイダンス
- 11月8日(土) キャリア教育講座
- 11月13日(木) 自己表現力向上ガイダンス(校友会共催)
- 11月18日(火) リクナビ・マイナビを使った就職活動の進め方ガイダンス
- 11月20日(木) 面接対策ガイダンス
- 11月27日(木) 公開模擬面接
- 11月下旬 TOEIC講演会
- 11月29日(土) OB・OG就職相談会(校友会共催)

12
December

- 12月上旬 ~下旬 各種業界研究セミナー
- 12月10日(水) 未内定者のためのフォローアップセミナー(全学部合同)

教務課

学生課

研究事務課

エクステンションセンター

- 9月3日(水) ~4日(木) メディア・イノベーション講座
- 9月16日(火) 後学期授業開始
- 9月20日(土) ~28日(日) 法学部招聘(オンクルトラクサ先生)
- 9月21日(日) ~10月5日(日) 本部招聘(アルムプリュスター先生)
- 9月23日(火) 秋分の日は通常どおり授業を実施
- 9月24日(水) ~30日(火) 履修登録期間(後学期開講科目)
- 9月27日(土) 定期無料法律相談会
- 9月下旬 ~10月上旬 社会保険労務士講座説明会
社会保険労務士シンポジウム

- 10月4日(土) 平成26年度学内学生会・研究所合同研究会
- 10月13日(月) 体育の日は通常どおり授業を実施
- 10月14日(火) ~15日(水) 履修登録中止期間(後学期開講科目)
- 10月18日(土) 第37回法律討論会
- 10月18日(土) ~26日(日) 法学部招聘(コスタ先生)
- 10月25日(土) 定期無料法律相談会
- 10月31日(金) 第35回法検祭準備日(休講)
- 10月中旬 平成27年3月卒業及び留年に関する手続き期間(4年次生対象)
- 10月中旬 ~11月中旬 セミナー説明会・公開ゼミナール(2年次生対象)

- 11月1日(土) ~3日(月) 第35回法検祭(休講)
行政なんでも相談
- 11月4日(火) 第35回法検祭後片付け(休講)
- 11月23日(日) 巡回無料法律相談会(水戸市)
- 11月24日(月) 勤労感謝の日の振替休日通常どおり授業を実施
- 11月中旬 セミナー入室申込期間(2年次生対象)
- 11月下旬 セミナー入室試験(筆記)(2年次生対象)
- 11月下旬 ~12月上旬 セミナー入室試験(口述)(2年次生対象)

- 12月上旬 クリスマスイルミネーション点灯式
- 12月13日(土) 定期無料法律相談会
資格試験合格者褒賞制度褒賞授与式
- 12月23日(火) 天皇誕生日は通常どおり授業を実施
- 12月24日(水) 授業回数調整のため、月曜日の授業を行う
- 12月25日(木) 授業回数調整のため、土曜日の授業を行う

※各項目についての詳細は、各担当部署にお問い合わせください。 教務課 学生課 研究事務課 エクステンションセンター



日本大学法学部ジャーナル
Journal
2014 Vol.13 September ▶ December
2014年9月25日発行 日本大学法学部広報 通巻121号 発行:日本大学法学部企画・広報委員会

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/>
詳細情報は、随時掲示板およびホームページを見て確認してください。

特集

日本大学法学部創設 125周年

～伝統と誇り、さらなる前進～

日本大学法学部は2014年10月4日に、学部創設125周年を迎えます。これを記念して、日本大学法学部の輝かしい伝統と、さらなる前進をテーマに、さまざまな角度から本学部の展望を探ります。

日本大学法学部
日本大学大学院法学研究科
日本大学大学院新學部研究科
日本大学大学院知的財産研究科
(専門職大学院)

Contents

2 [特集]
日本大学法学部
創設125周年
～伝統と誇り、さらなる前進～
法学部長挨拶 杉本 稔

4 Interview 1
法学部OB 参議院議員
小川勝也

125th column①
創設125周年記念事業
法学部新ロゴマーク制定
日本大学法学部ホームカミングデー
特別展示会

6 Interview 2
法学部後援会 会長
岡田雅史

7 Interview 3
法学部校友会 会長
中村克夫

8 Special Report
日本大学法学部の伝統力
■日本法律学校創立
■マスコミ業界研究セミナー

125th column②
第35回法桜祭
学生フォーラム
法桜祭実行委員会

10 就活up!
第1回
就活繰り下げ元年の傾向と対策
4年生からの就活メッセージ

11 留学Life
Vol.1
アメリカだけじゃない!
国際交流プログラム

12 日本大学法学部
Event Schedule (9月～12月)

125回目の誕生日は 先達への感謝と 未来をみつめる日に



日本大学法学部長
杉本 稔

平成26年(2014)10月4日、私たちの日本大学法学部は125回目の誕生日を迎えます。私たちはこの長い歴史と輝かしい伝統に限りない愛着と誇りを抱きつつ、私たちの先達に心からの感謝を捧げなければなりません。と同時に未来に向けて新たな一歩を踏み出す日でもあります。この記念すべき誕生日を、大学を構成するすべての方々と共に祝いたいと思います。大学を構成しているのは教員と職員そして学生です。記念すべき誕生日は、これまでの歴史に思いを馳せ、そして未来をみつめる日ですので、私は現在の教職員・学生だけではなく、現在・過去・未来の教職員・学生と共にこれを祝いたいと思います。幸い、10月4日の大学創立記念日から11月初めにかけては、これらの過去・現在・未来が集う機会に恵まれています。10月4日に予定している法学部創設125周年記念式典には、これまで法学部の発展のために尽力された方々をお招きし、また11月1日には、法学部としては初の試みであるホームカミングデーが計画され、さらにオープンキャンパス(秋)が実施されます。法桜祭は言うまでもなく学生諸君のサークル活動の祭典であり、またゼミナールに所属する諸君の研究成果を披露する学生フォーラムも開催されます。大学は決して現に在籍している私たちだけのものではありません。伝統の力も借りて、若い世代の夢と希望の実現をサポートしていくことこそ、私たちに課せられた使命です。

法学部125年のあゆみ



学祖
山田頭義

第一次伊藤博文内閣で初代司法大臣に就任。近代的法治国家の基礎を築いた山田頭義が設立した「日本法律学校」が日本大学の前身。「司法の日大」の由来が、ここにあります。

(詳しくはP8で紹介しています)

- 1889年 (明治22年) 山田頭義(時の司法大臣)が皇典講究所内に日本法律学校創立
- 1893年 (明治26年) 第1回卒業式挙行。校友会設立
- 1896年 (明治29年) 神田三崎町(現法学部本館)に初の独立校舎落成
- 1898年 (明治31年) 卒業生に日本法律学士の称号授与が決定
- 1903年 (明治36年) 大学組織となり、日本大学と改称
- 1904年 (明治37年) 専門学校令による大学となる
- 1920年 (大正9年) 大学部法律学科・政治学科となる
- 1940年 (昭和15年) 政治学科を政治経済学科に改称
- 1947年 (昭和22年) 新聞学科を新設
- 1949年 (昭和24年) 新学制による大学となる
- 1951年 (昭和26年) 法学部を法学部と文学部に再編
- 1964年 (昭和39年) 大学院法学研究科を設置
- 1968年 (昭和43年) 経営法学科・管理行政学科を新設
- 1969年 (昭和44年) 法学部本館落成
- 1989年 (平成元年) 日本大学創立100周年記念式典
- 2004年 (平成16年) 法学部図書館落成
- 2009年 (平成21年) 創立120周年。法学部10号館落成
- 2013年 (平成25年) 管理行政学科を公共政策学科に改称
- 2014年 (平成26年) 法学部6号館(サークル棟)落成
- 2014年 (平成26年) 法学部創設125周年
- 2014年 (平成26年) 法学部新ロゴマーク制定



法文学部校舎(現法学部本館)と桜門ビル(戦後)

自分の想いと信念を貫いて 何事にもチャレンジする!!



Interview 1 法学部OB 参議院議員 小川勝也

昭和62年法学部政治経済学科卒業

平成7年、32歳の若さで参議院議員に初当選（現在4期目）。平成21年、鳩山内閣で内閣総理大臣補佐官（農山漁村地域活性化担当）、平成23年、防衛副大臣。現在、参議院農林水産委員会理事、民主党ネクスト農林水産大臣、民主党北海道副代表。趣味は読書、野菜作り。座右の銘は「義を見てせざるは勇なきなり」。

りに勉強する中で、政治は面白い!と思
うようになったんです。もちろん、自分
が国会議員になるとは思ってもいません
でしたが、政治に携わる仕事に就きたい
と思ひ、弁護士から方向転換して日大法
学部政治経済学科に入学したわけです。
人生何が転機になるかわかりませんよね
入学後は、すぐに日本大学政治研究会
に入会しました。それで先輩から、誰か
友達も誘えと言われたので、半ば強引に
誘ったのが学生下宿で一緒だった梶原君。
現在、私の政策担当秘書をしてしてくれて
います。ですから、彼とはそれ以来、もう
32年の付き合いなんですよ。

厳しい指導があったから 今日の自分がある

大学を出てからは、鳩山邦夫事務所
秘書として働くのですが、これがまた不
思議なご縁なんです。昭和61年夏の総
選挙に鳩山由紀夫さんが北海道から出馬
して初当選されたんです。私は翌年3月
に卒業だったので、大学の先生が北海道
出身の小川というのがあると、事務所の

北海道から上京して 新聞奨学生から政治家へ

出身は北海道の和寒町というところで、
私が体験した最低気温は氷点下36℃。と
ても寒いところです。政治家になるには
「地盤、看板、靴が必要」と言われました
が、私はただの鍛冶屋の息子で、何もしな

いとところからのスタートでした。
中学、高校の頃は法曹を目指していた
んです。法廷小説や推理小説が好きで、
冤罪から人を救う弁護士に憧れていまし
た。ところが、高校時代にいろんな仲間
とエンジョイしすぎて(笑)、志望大学を
ことごとく落ちてしまいました。それで、
東京に行つて、新聞奨学生として働きな

がら自分の力で予備校に行くこと決めたん
です。高校卒業と同時に上京しました。
ところがなかなか仕事がないので、
新聞を配り終わって、部屋に戻って、新
聞を読むだけという毎日でした。それで
も、毎日2時間じっくり新聞を読んでい
るうちに、社会に対する疑問が湧いてき
て、税制や安全保障、経済などを自分な

秘書に空きがないか聞いてくださったん
です。そうしたら鳩山由紀夫さんの方は
埋まっていたのですが、弟の鳩山邦夫さ
んのところは随時募集だと。なぜ随時募
集かというと、厳しくてみんなすぐ辞め
るからだ。私は昔気質の職人の父親か
ら、若いうちの苦労は買ってでもしろと
教えられてきたので、なんかがんばろ
うと飛び込みました。だから私は、地盤
も看板も靴もないのに、鳩山邦夫先生に
厳しくご指導いただいたから、今日の自
分があると思っています。そのあと民主

選挙区から出馬して、32歳で初当選しま
した。現在4期目、国会議員として20年
目、参議院の農林水産委員会理事として、
第一次産業を中心とした地域活性化に取
り組んでいます。東京一極集中で、地方
が疲弊しているなか、地方の人口や雇用、
医療や生活をどう守っていくのかという
ことが、政治の大きなテーマですので、
ライフワークでもある「環境」「食」の間
題とともに、これからもしっかりと仕事を
していきたいと思っています。

えてきたことが今の自分につながってい
ると思います。また、信念、想ひ、チャレ
ンジがいかに大事か。まあ、僕のように
法外なチャレンジをする人は少ないかも
しれませんが、とにかく学生の皆さんに
はいろんなことに挑戦して
ほしい。

だからどんどん先輩に話を聞きにいつて
ほしい。これは、日本大学に学んだ人の
特権なので。私の事務所にも日大
からインターンシップが来るのですが、
とてもうれしく、楽しみにしています。

Interview 1

KATSUYA OGAWA

鳩山事務所で精神的にも政策的にも鍛
えられ、平成7年の参議院選挙に北海道

これまで、いろいろな出会いやご縁が
あって、厳しくともひとつひとつ乗り越

OB・OGの先輩たちを
頼ったほうがいいです。先
輩というのは、無条件に後
輩に優しいし、頼られたい
、アドバイスを求められたい
と思っている。せっかく日
本中にある法学部校友会の
ネットワークを利用しない
手はないと思うんですよ。



参議院議員会館にて

創設125周年記念事業

法学部創設125周年を記念して、今年は様々な記念事業が実施されています。その中から、新ロゴマークと、この秋に開催される2つのイベントをご紹介します。

■法学部新ロゴマーク制定

創設125周年にあたり、法学部の新ロゴマークが制定されました。NUCLはNihon University College of Law (日本大学法学部)の頭文字



の頭文字、
緋(ひ)色は日本大学の
スクールカラー、
紫紺(しこん)は法学
部のカレッジカラー。
また、2つの楕円は、
未来に向かって躍動
する日本大学法学部
の姿を示しています。

■日本大学法学部ホームカミングデー

日本大学法学部校友会の協賛を得て、本学部を卒業された方々を対象としたホームカミングデーを初開催します。日本大学法学部、法学研究科、新聞学研究科、知的財産研究科を卒業、修了された校友の皆さまに來校いただき、楽しい1日を過ごしていただきます。(当日は法検祭、オープンキャンパス同時開催)

【日時】11月1日(土)13時～(式典、キャンパスツアー、懇親会)
【会場】法学部10号館1011講堂、2号館



→式典の行われる10号館1011講堂(2009年落成)。
※ホームカミングデーの参加には事前申込が必要です。参加申込は法学部HPの専用フォームからお願いいたします。

■特別展示会

法学部図書館にて創設125周年記念特別展示会を開催します。
【期間】10月1日(水)～11月3日(月・祝)

※10月4日(土)・5日(日)は休館

【会場】法学部図書館1階ブラウジングコーナー

【学祖関連展示】

初代司法大臣の山田顕義を中心に、日本大学の前身である日本法律学校が創立されて今年で125周年。これを機に、あらためて学祖・山田顕義の足跡を振り返るべく、法学部所有の学祖関連の掛軸9幅、学祖宛および学祖発信書簡4通を解説文とともに展示します。

【貴重書展示】

法学部図書館が所蔵する約3万点におよぶ貴重書、特別書の中から、洋書約20点(書簡を含む)を厳選して解説文とともに展示します。

→インクナブラ(15世紀の活版印刷術黎明期の刊行本)より、ジョバンニ・ダンドレア「血族・姻族、教会法上同族樹形図注釈」(1478年)



より良き学生生活のために 親の目線からバックアップ

法学部の学生たちの 保護者による団体です

日本大学法学部後援会は、平成元年に設立された法学部生の保護者による団体です。私自身は日大経済学部出身なのですが、娘が法学部でお世話になっておりまして、保護者の代表として、今年6月から1年間、会長を務めさせていただくことになりました。

後援会の活動としては、会員の方々からお預かりした後援会費をもとに、大学の環境整備や学生生活の充実のための支援を行っています。

具体的には、施設などの環境整備に対する支援では、図書館や演習室などのパソコンの維持、学食や図書館の観葉植物などのほか、今年度は本館の学生用トイレの改修費用の補助も行います。これまでも学食のリニューアルや6号館(サークル棟)の新築の際も支援させていただいております。学生生活関連では、サークルやゼミナールの活動、学生研究室や課外講座、法検祭や体育大会などの行事、福利厚生などの経費の支援、さらに就職



Interview 2
日本大学法学部後援会 会長

岡田雅史

ガイダンス・セミナーやキャリア講座、就職活動ガイドブックなど、就職活動を

充実させるための支援も積極的に行っています。学生の皆さんの意外と身近なところでお役に立っているんですよ。

あくまで大学が主催する行事や活動へのバックアップを行うというスタンスですが、学生にとつて公平性に欠けるものはないかなどのチェックは随時行っています。また年に1回総会を開催し、会員の皆さんに事業報告、事業計画を承認い

ただいたうえで活動しています。

「自主創造」の精神のもと 大きく成長してほしい

学生時代は水道橋あたりの居酒屋で仲間とよく飲みましたね。フェイス・トゥ・フェイスで、ああでもない、こうでもないと言いつたりすると自分の知らない世界を吸収できますし、自分の考え方に柔軟性も出てくる。それが社会に出た時

に役立つんです。柔軟性があって、変化に対応し実行できる人間というのは、まさに社会や企業が求めている人材ですから。今はSNSでコミュニケーションをとる時代ですが、学生の時こそフェイス・トゥ・フェイスで、いろんな人の話を聞きながらコミュニケーション力を養い、さまざまな知識を習得してもらいたいんです。私自身は大学時代にオーケストラに入って、バイオリンを弾いていました。会社の連中とか、誰も信じてくれないですけど(笑)。当時は無我夢中で練習し、目標に向かって突っ走り、とにかくとても充実した4年間だったと思っています。現役学生の皆さんも4年間で何かに思い切り取り組んでもらいたい。日本大学は、自由の精神にあふれていて、良い意味でも何でもできる。学業でもスポーツでもサークルでも、本当にやる気のある人間は、すぐ成長できる環境にある大学です。自分が何をしたいかというのが見えてきたら必死にやっつて、社会に飛び出してほしい。それが夢の実現にきつとつながります。

最後に、法学部の創設125周年ということですが、山田顕義先生の「自主創造」の精神を忘れずに、今後も150年、200年と、社会に貢献できる学生をどんどん輩出してほしいと思います。日大出身者としては、母校が前進していく姿を見るのはうれしいものです。そのため後援会は、本年度も学生生活の充実と環境整備、また就職活動や研究の支援に積極的に取り組ませていただこうと思っています。

明治時代から続く 校友会DNAを継承する

法学部の学生に向けた さまざまな活動を展開中

日本大学法学部校友会は、明治22年に学祖・山田顕義伯爵が「日本法律学校」を創立した4年後の明治26年に、11人の第1回卒業生有志と6人の教職員により設立されました。当時、山田顕義伯爵が急逝し、経営上の問題から廃校の危機にあつた母校を救おうと、彼らは学校事務を無償で引き受け、講師となる先生を探して奔走するなど、学校の存続を懸けて大変な奮闘をされたそうです。そういう先人たちの苦労があつて日本大学法学部は今年125周年を迎えられるわけですが、心から感謝と敬意を表するとともに、彼らの精神が法学部校友会のDNAとして受け継がれてきたんだろうと思います。平成15年に校友会の抜本的な改革がなされ、現役の学生さんに準会員になって戴いたことにより、法学部の学生のためさまざまな新事業を行えるようになりました。



Interview 3
日本大学法学部校友会 会長
日本大学常務理事

中村克夫

者褒賞制度」です。春にエントリーした資格に合格した学生に、賞状と図書カードを贈っています。宅地建物取引主任者資格とか秘書検定、簿記一級など実用性のある資格を目標設定することによって、前向きな姿勢につながるであろうし、日大法学部の学生は礼儀も正しい、資格も持っている、即戦力のある学生だという評判が定着することを願っています。放送、新聞、出版、広告などの各業界で

働く先輩を招いての「マスコミ業界研究セミナー」は、今年も6月に第8回を開催しました。マスコミ業界の法学部OB・OGがボランティアで母校の後輩のために50人も集まってくれました。そういう先輩たちがたくさんいるのは、現役の学生にとつて、とても幸せなことなんです。それをさらに拡大したのが「OB・OG就職相談会」です。法学部生限定で、55社から70社くらいのさまざまな

企業、官公庁で働く日大出身の先輩たちに来てもらって、対面式で直接話が聞けるとあつて毎年大盛況です。ほかに、日本バフォー・マンズ界のバイオニアで日本大学芸術学部教授の佐藤綾子先生を招いて、就職面接などに役立つ表現力を学ぶ「自己表現力向上ガイダンス」、さらに今年で37回目を迎える伝統のイベント「法律討論会」では優秀質問賞を法学部校友会が設けたり、3月にはサプライズゲストを招いての「卒業記念祝賀会」も行っています。今後は法学部校友会の奨学金制度も創設します。これから校友会は法学部学生のために 法学部校友会は、法学部の学生たちのやる気を起こさせ、法学部の学生の質を高め、社会に送り出すというのが、第一の使命だと思っています。そして卒業後は、お世話になった先輩たちのように、母校の後輩を愛するOB・OGになってほしいと思います。校友会の約30人の常任幹事も、ボランティアで後輩たちのために頑張ってくれています。日本大学の教育理念である「自主創造」は、時代の変化に対応して、自主性と創造性をもって生きていってほしいということ。そして先輩やまわりの人たちの縁を大切にすることによって、自分の人生がいかに心豊かに生きられるかということを知ってほしいです。法学部校友会は、今後も法学部学生のためのさまざまな支援を行います。

日本大学法学部の伝統力

重ねた時間に本物のパワーが宿る

file 1

「司法の日大」の原点ここにあり 日本法律学校創立

我が法学部は、
日本大学の原点です

明治22年(1889)10月4日、日本大学の前身である日本法律学校が、時の司法大臣・山田顕義を中心に創立されました。それから今年で125周年、法学部はまさに日本大学の原点であり、これを機に、改めて「司法の日大」のルーツを探ってみましょう。

軍事に優先する」という確信を持ち、日本における近代法整備に尽力することとなります。明治18年(1885)、内閣制度発足に伴い、第一次伊藤博文内閣で日本最初の司法大臣に就任。以降、各内閣で司法大臣を歴任しました。明治22年(1889)2月、大日本帝国憲法が公布され、民法・商法・民事訴訟法などの準備も着々と進みました。司法に携わる人材の育成が急がれるなか、当時はイギリス法学系の東京大学、東京専門学校(のちの早稲田大学)、英吉利法律学校(のちの中央大学、慶応義塾、フランス法学系の和仏法律学校(のちの法政大学)、明治法律学校(のちの明治大学)など、欧米法の教育が主流の時代でした。山田顕義はこれに疑問を呈し、立憲政体をとる国は、自国の法制について知識を深める必要があると、国史、国法を専修する教育機関を設立する構想を進めていきました。



日本法律学校初の独立校舎(明治30年代)



金子堅太郎 宮崎道三郎

同じ頃、憲法起草にも関わった枢密院書記官の金子堅太郎、帝国大学法科大学教授の宮崎道三郎ら11名の若手学者も同様の構想を持っており、これを知った山田は彼らを全面的に支援。こうして、司法大臣山田顕義と若き法律学者らが共に構想した日本の法律を学ぶ学校「日本法律学校」が、明治22年(1889)に創立されました。初代校長には金子堅太郎が就任しました。



山田顕義 (やまだ あきよし)

1844年、長門国萩(現山口県萩市)に萩藩士山田顕行の長男として生まれる。幼名は市之允。14歳で吉田松陰の松下村塾に入門。高杉晋作らと研鑽を積む。青年期には大村益次郎に兵学を学び、戊辰戦争などで活躍。1885年、初代司法大臣として入閣

次の3点に要約することができます。
一、日本の法律は新旧を問わず研究する。
二、海外の法律といえども、日本法学の参考となるものは取り入れる。
三、これまでは欧米の法律を学ぶことが主流だったが、日本法律学校は「日本法学」という独自の学問分野を切り拓いていく。
創立時に記されたこの建学理念は、今日の日本大学法学部に脈々と受け継がれています。また、明治29年には、初の独立校舎が現在の法学部本館の場所に竣工。平成の今も学祖・山田顕義の胸像が若者たちを見守り続けます。

参考資料：日本大学 通信教育部「日本大学を学ぶ」

file 2

後輩のサポートも法学部の「伝統」 マスコミ業界研究セミナー

マスコミ業界で活躍する
OB・OGがアドバイス

去る6月28日(土)、10号館にて日本大学法学部・法学部校友会共催による「第8回マスコミ業界研究セミナー」が開催されました。当日は約50名ものマスコミ関係の法学部OB・OGが、全国から駆け付けてくださいました。第1部は1011講堂にて出版・エントテインメント・広告・放送・新聞の各業界の代表者による講演が行われ、

第2部では各業界ごとに会場を移し、OB・OG・内定者に対する質問会、さらにOB・OGを囲んだの車座質問会が行われました。各業界で活躍する先輩方が、学生一人ひとりに親身になってアドバイスを送ってくれました。このセミナーを企画・運営するのは、学生サポーターたち。OB・OGにお話を伺いに行ったり、マスコミ業界についての勉強会を行うなどの活動をしています。このメンバーからも毎年マスコミ業界への就職が決まっています。



↑第2部では業界ごとに会場を分かれ、質問会が行われました→車座になったの質問会は、興味を持っている業界の先輩方に直接質問できる貴重な機会です



←マスコミ業界で活躍する約50名のOB・OGの皆さんと、企画・運営に携わった学生サポーターたち(前列)

参加企業(順不同) 毎日新聞社 産経新聞社 神奈川新聞社 PHP研究所 講談社 電通テック 未来屋書店 博報堂 東急エージェンシー ヤマハミュージックパブリッシング 日本放送協会 TBSテレビ フジテレビジョン テレビ朝日映像 エイベックス・エンタテインメント 他

第35回 法桜祭

今年で35回目を迎える日本大学法学部の学部祭「法桜祭」が、11月1日(土)~3日(月・祝)の3日間開催されます。オープニングを飾るフェニックスパレードをはじめ、模擬店やお化け屋敷、模擬裁判など、伝統を受け継ぐ数多くの企画の中から、第1回から続いている名物企画と、法桜祭の運営を支える専任の法桜祭実行委員会をご紹介します。

学生フォーラム

法学部の各ゼミナールがゼミの研究成果を発表する「学生フォーラム」は、第1回法桜祭から継続している伝統ある企画です。毎年30近いゼミナール団体が参加し、3日間に渡って熱い研究発表を繰り広げます。ゼミの学生たちにとっては年に一度の晴れ舞台となり、学生や一般の方、そして保護者の方にとっても、ゼミの研究を知ることができる貴重な機会です。学問を前面に打ち出した、法学部ならではの人気企画です。



昨年の学生フォーラムより。フォーラム専用のパンフレットも制作されています

法桜祭実行委員会

法桜祭は学生主体で作上げる学部祭です。一般的に学園祭の実行委員は、サークルなどの活動と並行して務めることが多いなか、法桜祭の実行委員は専任で、委員長以下、企画局、広報局、財務局など全8局、総勢約170名の大きな組織で運営しています。専任の実行委員が、毎年12月から約1年をかけて準備を進めるので、完成度の高い企画や、きめ細やかな対応が好評です。法桜祭全日程終了後には熱い感動に包まれます。



昨年の法桜祭実行委員会は175名。お揃いの赤いスタッフジャンパーを着て奮闘しました

法学部創設125周年

~伝統と誇り、さらなる前進~

留学 Life

go abroad to study



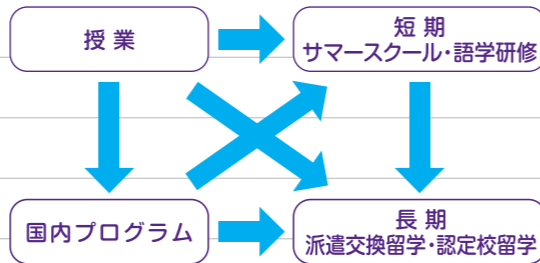
Vol.1 アメリカだけじゃない! 国際交流プログラム

様々なプログラムで海外留学をサポートしています

日本大学法学部では、言語や目的に応じた様々な国際交流プログラムを実施しています(「法学部での外国語学習方法」を参照)。例えば、学期期間中での授業や国内プログラムでしっかり準備を整えて、夏休みや春休みを利用した短期の海外語学研修に参加、そして長期の交換留学へ、といったステップアップが図れます。

●各プログラムの詳細は法学部教務課までお問い合わせください。

法学部での外国語学習方法



Step 1 国内プログラム

- 語学課外講座
TOEIC集中課外講座、英検集中課外講座、TOEFL 課外講座、ドイツ語検定試験対策講座、ドイツ語集中課外講座、留学・海外研修のための英語・ドイツ語・フランス語・中国語講座など、前学期および後学期に開講しています。
- ソノマ州立大学教員による短期集中英語研修
米国ソノマ州立大学教員が来日し、研修所等にて実施する合宿形式の研修です。期間：3月中旬～下旬(10日間)

Step 3 長期 派遣交換留学・認定校留学

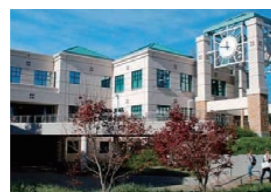
派遣交換留学は日本大学および日本大学法学部との学術交流協定に基づき、本学の代表として留学する制度です。また、認定校留学とは、学生個人が留学先の大学を選び出願し、入学許可を取得したうえで、本学に留学を願ひ出る、公式な許可を受けて留学する制度です。



アヴィニョン大学

Step 2 短期 サマースクール・語学研修

夏期および春期に実施されている3～5週間の研修です。法学部では特に力を入れており、これまでも英語圏だけでなく、ドイツ、フランス、中国、韓国等の大学で研修を行っています。



ソノマ州立大学

研修名	研修期間	対象
イギリス ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ サマースクール	夏期1ヶ月	全学部
アメリカ エリザベスタウン・カレッジ サマースクール	夏期1ヶ月	全学部
オーストラリア ボンド大学付属英語研修機関	春期1ヶ月	全学部
アメリカ ソノマ州立大学語学研修	夏期1ヶ月	法学部
ドイツ ヘルリン自由大学語学研修	夏期3週間	法学部
フランス アヴィニョン大学語学研修	春期3週間	法学部
中国 北京大学語学研修	春期1ヶ月	法学部
韓国 新羅大学校語学研修	夏期1ヶ月	法学部

海外研修旅行

海外の文化や歴史に触れる



ローマのコロッセオにて

●「海外研修旅行」については法学部学生課までお問い合わせください。

昨年度で第44回の歴史を重ねたヨーロッパ研修旅行は、今年度からは、夏にアメリカ合衆国、春にヨーロッパ各国の年2回とし、名称も「海外研修旅行」と変更しました。法学部生の仲間約40名と引率の教職員の先生方と各国を巡り、歴史、文化、自然にふれることはもとより、法学部生の専門学問領域に関する施設、企業、大学を訪問しながら、より研鑽を積み、さらに参加学生の語学力の確認、向上を目的とします。

留学先大学	留学期間	対象
アメリカ ワシントン州立大学	8月から1年間	全学部
アメリカ ウェスタンミシガン大学	8月から1年間	全学部
アメリカ アラバマ大学バーミングハム	8月から1年間	全学部
アメリカ ハワイ大学マノア校	8月から1年間	全学部
アメリカ エリザベスタウン・カレッジ	8月から1年間	全学部
アメリカ ケント州立大学	8月から1年間	全学部
カナダ トロント大学	9月から1年間	全学部
アイルランド アイルランド国立大学メイヌース校	9月から1年間	全学部
フィンランド ラッペンランタ大学	8月から1年間	全学部
スウェーデン ストックホルム大学	8月から1年間	全学部
デンマーク オーフス大学	8月から1年間	全学部
ドイツ ヨハネス・グーテンベルク大学	10月から1年間	全学部
ドイツ ヘルリン自由大学	10月から1年間	全学部
フランス アヴィニョン大学	9月から10ヶ月間	全学部
中国 鄭州大学	8月から1年間	全学部
中国 山東大学	9月から1年間	全学部
中国 北京大学	8月から1年間	全学部
台湾 国立台湾大学	9月から1年間	全学部
台湾 国立中央大学	9月から1年間	全学部
韓国 慶熙大学校	2月から1年間	全学部
韓国 延世大学校	2月から1年間	全学部
韓国 高麗大学校	2月から1年間	全学部
フランス アヴィニョン大学	9月から10ヶ月間	法学部
韓国 新羅大学校	3月から1年間	法学部



就職指導課は法学部10号館2階にあります

新就活スケジュール早見表



※就職指導課では年間を通じて様々な就職支援行事を行っています。9～12月分はP12「Event Schedule」をご覧ください。

第1回 就活繰り下げ元年の傾向と対策

平成25年9月13日、日本経済団体連合会より公表された「採用の選考に関する指針」によれば、来年から企業の広報活動開始(エントリー)、説明会、ES、Webテスト等)は3月1日、採用選考開始(面接、グループ選考、筆記試験等)は8月1日となり、就職活動準備期間は長期化するものの、実質の活動時間は短期決戦となります。その結果、就職活動において早期から情報収集等積極的に行動した学生とそうでない学生とが3月を迎えた場合、その差は歴然(「極化」となるばかりか、企業研究等をしつかりしていない(「情報不足」)ことによる大手・有名企業への応募者が増加し、結果、内定

を取得できないことも多分に予想されます。こうした事態にならないよう、早くから自己の進路を見極め(自己分析)、志望する企業はどのような業態で、どのような人物を求めているのか(企業研究)を早期から始め、あわせて採用選考における筆記試験・面接試験の準備をしておくことが望まれます。就職指導課では諸君の就職活動を全面的にサポートしていますので、いつでも相談にきてください。

今年の就活の最新情報を発信!

就活up!

今年から大きく変わる
就活スケジュールを
制する!!



就職指導課 間宮和彦課長に聞きました

4年生からの

自分は将来何をしたいのかを常に考えることが大切です

3年生の時にカンボジアにボランティア活動に行き、現地の状況を実際に見て、人の生活の根幹を支える仕事がしたいと思いました。内定先企業は、営利を目的としない金融機関で、働く人の生活を直接支える仕事ができると思い志望しました。

就職活動で大切なのは、自分が将来何をしたいのかを常に考えることです。どの企業も魅力的に見えますが、自分の軸をしっかり持って選んでほしいと思います。これからの40年という人生に対し責任を負えるのは自分だけです。だからこそ就職活動では自分自身にしっかり向き合い、決断してほしいと思います。



公共政策学科4年 宇都野 香さん

内定先 中央労働金庫(総合職)

就活メッセージ

仕事へのモチベーションを自信をもってアピールする

個人というアウトプットが重要視される仕事をしたいと思い、経営コンサルタントという職種を選択しました。コンサルティングに興味を持ったのは、国際マーケティングのゼミに入ったのがきっかけです。外資系企業=英語という固定概念があるかもしれませんが、それだけではなく、自分が成長できるという仕事に対するモチベーションと外資系企業の文化がマッチしたのだと思います。

就職活動は「妥協しないこと」「自信を持つこと」が大切だと思います。自信のない言葉は誰に何を伝えることもできません。ぜひ前向きに頑張ってください。



経営法学科4年 新井誠也さん

内定先 外資系コンサルティング会社(戦略コンサルタント)